

議事録

審議会等名	第3回 つくばみらい市の幼児教育のあり方検討委員会
開催日	令和2年2月17日（月曜日）
開催場所	つくばみらい市伊奈公民館 1階会議室
出席者	出席委員 石塚真典委員長，直井正芳委員，藤森洋子委員，久下留美子委員，野口勝利委員，花田裕子委員，川又朋子委員，平塚久美子委員 以上8名 欠席委員 石塚武彦副委員長，小倉みどり委員 2名 事務局 学校総務課 大澤課長補佐（進行），長岡主査，鈴木主事 (株)青山建築設計事務所 高橋 一三，小松 由樹子
会議次第	1 開 会 2 委員長あいさつ 3 議 題 （1）前回の振り返り （2）私立幼稚園のアンケート結果 （3）近隣の公立幼稚園の再整備に関する動向 4 そ の 他 5 閉 会
議事概要	1 開会 午前10時00分 2 委員長あいさつ 石塚真典委員長 3 議題 （1）前回の振り返り （2）私立幼稚園のアンケート結果 （3）近隣の公立幼稚園の再整備に関する動向 【各意見】 委員 市立の保護者の方のアンケートと比較しても中身的にはそんなに変わらない。  委員 地域や他の保育施設との交流，小学校との接続については，私立は重視していないようだが，公立では取り組んでいるので，私立と公立の選ぶ基準や違いだなと感じる。  委員 障がいがある子の受け入れが民間では難しいとあるが，なぜ難しいのか。公立で受け入れるのも良いが，

今、私立に流れている中で、サポートが必要な子が公立に増えてしまうと、バランスが偏るのではないか。私立と公立で同じようなバランスで、支援が必要な子もそうでない子がいるようにしてほしい。

委員 公立幼稚園は支援が必要な子の受け入れをしていないのか。

→ (委員) している。例えば、医療的にどうしても付きっきりでいなくてはならない子に関しては、人員等が許せば、もちろん受け入れるし、それ以外の多動の子なども不問で受け入れている。

→ (委員) では、回答にある公立で受け入れてほしいというのは、もう少し受け入れの枠を増やしてほしいということか。

→ (委員長) これからのという意味だろう。

委員 他市町村の動向を見ると、縮小していくのが流れなのだろう。子どもが通った園、自分が通っていた園が無くなるというのは寂しいが、本市も縮小していく必要があるだろう。

公立幼稚園ではサポートが必要な子が増えていて、1クラスに先生が何人も入っていて、職員室には誰もいない状態だ。先生が足りない状況では今後縮小し、先生の数を保つ必要があると思う。

委員 私立ではどの程度、支援が必要な子を受け入れているか。

→ (委員) 保護者なので、詳しくは把握していないが、クラスに1人程度で、全クラスにはいないと思う。担任の先生の他にサポートの先生が付いているようだ。

→ (委員) 1クラスは何人くらいか。

→ (委員) 正確には分からないが、年少は30人弱くらいで3クラスある。年中・年長は縦割り保育でミックスのクラスだが、やはり30人弱で、7クラスある。

→ (委員) やっぱり公立よりは少ない印象。わかくさは、年少は20名のクラスが3つあり、その中で多いときは1クラスに4～5人。本当に1対1でつかないといけな

い子は1, 2名だと思うが, 他のクラスにもいる感じだ。

委員長 自分子どもが障がいかどうか, グレーな状態で不安なお母さんは結構いる。子どもを見ていて, 少し気になることがあっても, 誰に相談したらいいかわからないようだ。そんなお母さんのサポートをする先生が担任の先生以外にも1人いたら良いと思う。

委員長 委員会では, どういった支援体制を取っているか。  
→ (事務局) 支援が必要な子には支援員を1人つけるような体制をとっているが, 支援員を確保するのが難しい状況。支援員が確保できない間は, 保護者に付き添いをお願いしたり, 入園を待ってもらっている。

委員長 専門的な支援ができれば一番良いが, なかなかいない。単純に付きっきりでいれば良いということではなく, その子にとってどこまでの支援が必要か, その判断が非常に難しい。昔に比べ関心は高まっており, 教職員の研修会も開かれているから, その子にあった支援ができるようになってきてはいる。

委員長 英語・体操・音楽・水泳等の専門講師についてはいかがか。英語は, 外国人の先生がついているということだが, 専門的な指導となると通常の幼稚園教諭では難しい。

事務局 補足として, 民間のアンケートの回答の中で, 「障がいのある子や配慮の必要な子の積極的な受け入れ」について, その理由としては, 私立は経営上, 人材確保や予算面が厳しいため公立でやってほしいという意見があった。

民間への移行についてはどう思うか。

園舎の整備については, 暫定移転の5年後, もとのところに建て直し戻すのか, それとも2園を1園にしてどこかの場所に建て直すのか, 若しくは, 建て直し

等を全然やらずに暫定としながらその施設を使用していくのか。

現状で定員割れをされていて、将来的にも人数が少なくなるので、現在の規模、わかくさ200人、すみれ100人の園を建て直す場合の費用対効果も考えなければならない。

委員長 民間に移行したらどうなるというのは具体的にあるか。

→（事務局）参考までに、わかくさ幼稚園については新築工事費の試算は約4億4千万円で、解体費用も加えると5億円程度。すみれ幼稚園についても約3億4千万円プラス解体費がかかる。

また、現在と同規模で2園分を1園にまとめ建てるとすると約6億2千万円。いずれにしても、市の財政状況から考えるとなかなか厳しいので、縮小や1園のみの整備にすればこの金額が少しずつ減る。

幼稚園の先生の人材確保が難しく、先生が少ない中で、施設だけ大きくてもどうなのかというところもある。

民間への移行について。市内には私立幼稚園は絹ふたば文化幼稚園のみ。もし来てくれる民間があれば、公立はもう少し縮小していく。その際、公立の役割として、支援の必要な子を受け入れる体制をより整備するなど検討したい。

委員長 東小と三島小の校舎は耐震工事も空調整備も済んでいて、良い建物だ。わかくさはもともと板橋中学校の空き校舎を使っていたのだし古かった。

つくば市の谷田部幼稚園はもともと独立してあったが、入りきらず、児童が少なくなった谷田部南小の1階を使用しているようだ。取手市の藤代幼稚園は藤代小学校の1階にあり、小学校と共用している。そうい

うのは多いようだ。でも本市ではそれは難しいだろう。

委員 土浦市は園児が本当に少ない。公立幼稚園全部で、1つの園に2人とか3人とかしかない。本市も確かに定員は割れているが規模が全然違う。まだ需要がある以上、ニーズに応えるのが行政の立場ではないか。これが20人、10人という規模になることがはっきりわかれば民営化かと思うが、現在の規模であれば、すみれ・わかくさの2園を1つの園にするのが建設的だと思う。

委員長 確かに近隣の例はいま委員が言ったような状況だろう。今後、減るというけれど、わかくさ幼稚園は県内で見ても1・2を争う規模の公立園だ。

事務局 教育委員会としても今すぐに民営化する考えではなく、人口が減っていく中で、将来的には他市のような状況になった場合のひとつのパターンを考えるというところ。

今回、公立幼稚園、幼児教育に求めるものについて意見を聞いている中で、改めて、やはり今後は支援が必要な子への対応が必要になるというご意見をいただいた。

また、幼児教育を提供する場として、教育に力を入れて進めてもらいたいという意見があったが、その方向性として、例えば、私立では英語教育や体操などに特化した取り組みも見られるが、公立でそこまでやる必要はあるか。また、公立ならではの良さや、公立幼稚園の運営についてどのようなあり方があるか。

本市の人口はみらい平地区だけでもその伸び率はほぼ横ばいで、既存集落等での減少もあり、全体として人口が減ってきている。子どもたちの減少を見据えなければならない。

地域バランスを考えた幼児教育は必要であるし、支

	<p>援が必要な子をどのような考えで受け入れるか。私立でも公立でも支援が必要な子を受け入れるにはそれなりの体制が必要になってくる中で、委員からあったように公立だけが受け入れをしていたら園児のバランスが崩れてしまう。教育委員会としてではなく個人的な意見を言えば、そうした場合、逆に私立に補助などを出して、受け入れをお願いしていくような方策も考えられると思う。</p> <p>委員 職員の確保ばかりにこだわってしまうと、絶対に質が落ちる。当園としては、人材の確保よりも、どのようにして職員が個々に合わせた教育や養護を実践できるかを、大事にしている。</p> <p>幼稚園となると文部科学省の幼児教育がベースになるだろう。特色のある子の保護者と面談をすると、何らかの教育を期待している方が多く感じる。</p> <p>民間のアンケートでは、公立でなるべく支援の必要な子をみてくださいという回答だったが、うちで預かっている特色のある子は、市内の全部の幼稚園、保育園、認定こども園を断られてうちしかないという子ばかりだ。以前には、養護学校や特別支援学級に引き継ぎをしたこともある。看護師も3、4名配置している。ただ、医療従事者や加配がいればよしという考え方は、あまり賛成できない。集団の中で学ぶ良さもあると思うが、個別支援が絶対に必要。就学前の大事な時期にこういった支援が必要か、園としてそれが出来るか出来ないかというのは判断すべきだと思う。</p> <p>特色のある子の保護者が、みんなとたくさん過ごして欲しい、それが学びだ、と思う気持ちはすごく分かるが、その子にはどんな施設に合うのかということ、施設が受け入れてくれる、くれない、の前に、しっかりと確認をしないといけないのではないかと。大人の身勝手に、学校に入る前の大切な時期を、ただ幼稚園が楽しいというだけにしてしまうのはどうなのかと思う。</p> <p>学校行ってからどうにかなるだろうではなくて、就</p>
--	---

学前までの環境がいかに大事かということは、職員全体が分かっているつもり。預かれる人数は多くはないが。

職員は講習に通って勉強しており、その他、特別支援の先生に定期的に来てもらったり、個別カンファレンスをやったりしている。いろいろな考えがあるだろうが、当園は積極的に受け入れている側だと思う。特色のある子の受け入れについては各園によって考えが違ふと思うが、公立だから民間だからってというのは、違ふんじゃないか。

安易に預ければ良いということも無責任だと思う。受け入れ体制の整っていない園に入っても、それが本当に良いことなのか。ただ、保護者からすれば、預けられずずっと家の中に籠った状態が続くとそれはストレスになるし、子どもにとっても他者との繋がりも大事。

そういった部分では支援のあり方として、子育て支援センター等でのフォローはもっともっとあっても良いと思う。特別支援の先生等、専門知識のあるスタッフがもっと増えると良いと思う。

そういった専門職員に、公立・民間関係なく、定期的に巡回してもらい、ちゃんとデータを取って、それに対して年間計画を立ててもらえると良い。現状ではなかなかそこまでは難しいと言われてしまい、仕方ないと思いつつも、自園だけでやるには限界があるので。公立の良さを特別支援とするならば、そういった考え方で様子を見てもいいのかなと思う。

暫定移転は立派な小学校の跡地だと思うので、5年間を過ごしてみて、子ども達も安定している、環境的にも良い、先生たちも慣れているっていうのであれば、小学校の跡地をずっと使ってもいいと思う。4億、3億って、とても大きなお金で、ましてや200人、1000人の規模をするのは正直、厳しい。

ただ、つくばみらい市で幼稚園を希望される保護者は多いと感じている。そういった人たちが他市町村に

出て行っているのは、自ら選んでいる部分もあると思うが、市内の幼稚園に入ることができないということでもあるので、公立の存在は大事だと思う。

地域バランスについては、バスの送迎は継続したほうがよいだろう。

5年間やってみて、保護者の意見、そこで働く先生の意見、園長先生の意見を踏まえて、このままで良いのか、2園の統合をするならば場所はどこにしようか、または、そのままの使用は厳しいから別の場所に移す、などを検討してはどうか。

1園を公立にして、もう1園を民間に移行するという場合には、そのタイミングはよく精査しなければならないと思う。幼稚園は学校法人が運営すると思うが、私たち社会福祉法人のお金の流れと、学校法人のお金の流れは全く違う。よりシビアなのは学校法人だと思うので、人口や利用者がすごく減ってきているところに、誘致しようとしても、なかなか手が挙がりにくいと感じる。

公立の良さについて、特色のある子が増えてきている中で、つくばみらい市の公立だったらこういうこともプラスでやっていますよっていうのも、それはそれで凄くいいこと。統廃合によって職員に対する教育などの時間、予算に余裕ができると思うので、職員の確保ばかりではなく、療育支援などに予算を回すことも可能となるのでは。公立の良さはまだまだ広げられると思う。

委員長 本市は、近隣と違い3年保育をやっていたので人気があった。支援の受け入れ体制については、教育委員会ばかりではなく、こども課でも手をかけられてはいると思う。

委員 教育内容に関しては、公立の場合は、特色はバランス。「目指す10の姿」というものが文科省から出ているが、そういうものを普段の生活の中で体験させるようにやっているの、一つだけ何か特色を出すという



	<p>のは、時間も限られるので難しいところがある。やはりバランスが強みだろう。</p> <p>先生たちも県や国の研修に参加し、園内研修も実施し、研究発表会も行なっており、保護者からは見えにくいところだが、日々、資質向上に取り組んでいる。</p> <p>ぜひ、そういう取り組みもホームページ上で発信していきたい。</p> <p>委員 実際、サポートしなきゃいけない子っていうのは、全員、入園できているか。</p> <p>事務局 いろんなケースがある。夏に入園を申し込み、その段階で相談される方もいるし、幼稚園に通う中で出て来る場合もあり、支援員の配置待ちのお子さんも若干名だがいると思う。ただ、市では、そういったお子さんなるべく受け入れられるように、先生を配置できるようにしている。</p> <p>4 今後のスケジュール 事務局より説明</p> <p>5 閉会 午前11時30分</p>
そ の 他	傍聴者 0名